

## 國中 均 様

### 現所属:

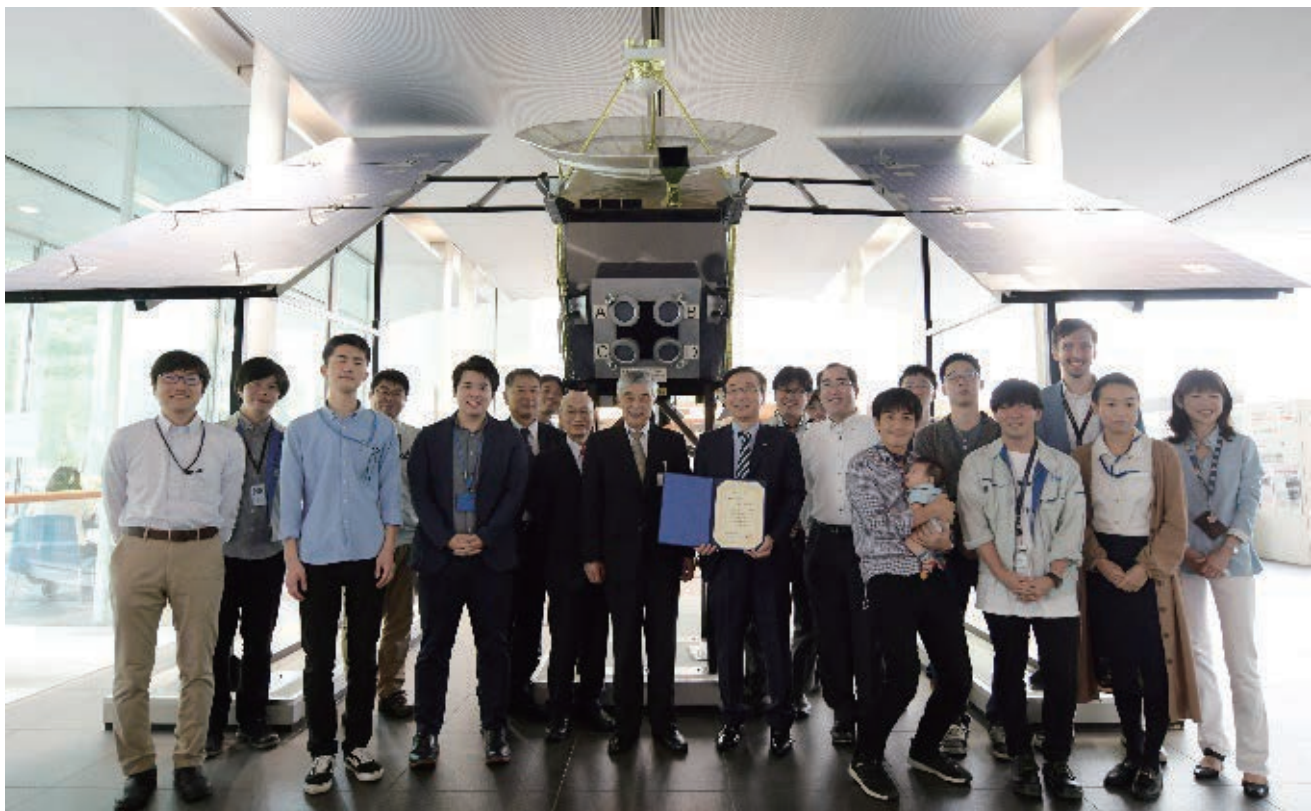
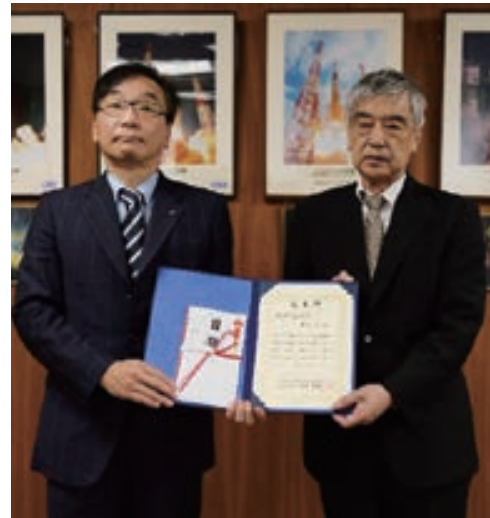
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 理事  
宇宙科学研究所 所長

### 研究・業績の紹介:

國中均博士は、従来実用に供されてきた電子衝撃型イオン源に代わる電子サイクロトロン共鳴 (ECR) イオン源に着目し、加速電極と電子源の劣化がなく、エネルギー効率を各段に改良したロケット推進用イオン源を完成させ、さらに、ECRイオン源をベースとした宇宙推進装置の開発と、はやぶさミッションへの応用で顕著な業績を挙げておられます。「はやぶさ」および「はやぶさ2」の小惑星探査ミッションは氏のECRイオン源なしには実現できなかつたと言って過言ではありません。

また、博士はECRイオン源のプラズマ物理を解明するために、従来のラングミュアプローブに代わる光ファイバー式プラズマ診断技術を開発し、ECRイオン源の動作状態を測定することに成功されました。この技術は薄膜生産用プラズマ装置の開発や診断に広く利用される可能性があり、産業技術の振興にも寄与するのは確実です。

以上、博士のご業績の一部をご紹介いたしました。自然科学・技術の発展、産業振興において顕著なものがあり、衛藤細矢記念賞にふさわしく、また宇宙航空研究開発機構理事および宇宙科学研究所所長としても、今後の更なるご活躍が期待される所です。

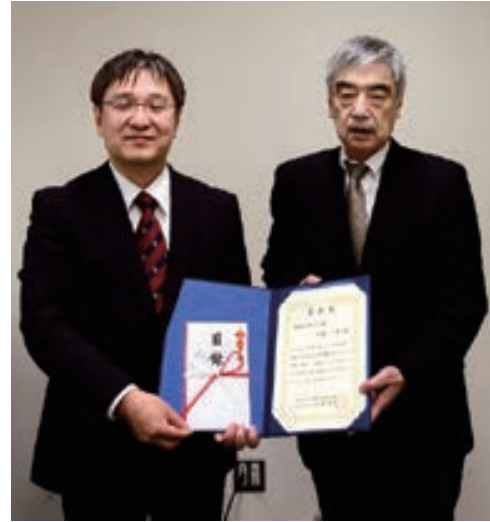


## 中臺 一博 様

### 現所属:

東京工業大学 特任教授

(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・  
ジャパン プリンシパル・サイエンティスト



### 研究・業績の紹介:

中臺一博博士は、JST ERATO北野共生システムプロジェクト、(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン、東京工業大学での研究活動を通じて、ロボットは、人間の口元にマイクを設置するのではなく、「自らの耳で周囲の音を聞き分けることができるべきである」という考えから、「ロボット聴覚」という新しい研究分野を提唱、現在に至るまで、その中心として世界のロボット聴覚研究をリードするなど、その学術的業績は高く評価されており、大変注目されています。

とりわけ、11人の同時発話を聞き分ける聖徳太子ロボットを世界に先駆けて開発し、その独創的な技術をロボット聴覚のオープンソースソフトウェアHARKとして、広く社会に公開しています。同時に、この技術を応用展開した画期的なドローン開発にも成功されるなど、社会実装を通じた技術の応用展開に貢献していることも高く評価されています。

以上、博士のご業績の一部をご紹介しましたが、情報科学技術の発展、産業振興において顕著なものがあり、衛藤細矢記念賞にふさわしく、今後の更なるご活躍も大いに期待されます。